

文化創生新戦略 2020

お問い合わせ

金沢市文化政策課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL.076-220-2442

FAX.076-220-2069

E-mail: bunshin@city.kanazawa.lg.jp

金沢市

はじめに

金沢のまちの個性と魅力は、固有の歴史風土に培われた学術と文化、そして新たなものにも目を向け、新たな価値を生み出してきた創造性あふれる文化的土壌にあります。文化は長い歴史を通じて培われた金沢が誇るべき資産であり、個性豊かで潤いに満ちた市民の暮らしを支えるとともに、郷土愛にあふれた人間性を育み、まちに活力を与えています。

北陸新幹線が金沢開業を果たした今、国内外より多くの人々が訪れ、本市の豊かな文化への期待や注目度がこれまで以上に高まっています。また2020年に開催が迫ったオリンピック・パラリンピック東京大会は、本市、ひいては我が国の多様な文化や魅力を多くの人々に知らしめ、文化の力を世界に示すまたとないチャンスであります。

本市では、2013年3月、新幹線の開業を機に魅力と活力あるまちづくりを加速させるため、新たな都市像として「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」を策定しました。この『文化創生新戦略2020』は、その『交流拠点都市金沢』の実現に向け、2020年を目途に、本市が文化芸術の交流・発信拠点となるための指針を策定するものです。この戦略に基づき、2020年を目標に、本市が文化都市として世界的な存在感を確立できるよう、文化関係者、高等教育機関そして文化の担い手である市民の皆様と一体となり、全力で取り組んでまいりたいと思います。

2016年3月

金沢市長 山野 之義



1 策定の目的

2020年を目途に、本市が文化芸術の交流・発信拠点となり、文化都市としての世界的な存在感を確立するため、その実現に向けた指針を策定するものであり、この戦略を推進することにより、本市の都市像である『世界の交流拠点都市金沢』を実現するとともに、世界に文化都市金沢を認知させ、文化の力による本市の活性化を図ります。

2 計画期間

平成28(2016)年度から平成32(2020)年度までの5年間とします。

3 プロセスと目標

2016年

「金沢市における文化の人づくりの推進に関する条例」制定・事業展開

2017年

「金沢・世界工芸トリエンナーレ」開催

2018年

「東アジア文化都市 2018」誘致・開催

2019年

「東京五輪に向けた文化プログラム」実施

2020年

「世界工芸サミット」誘致・開催

2020年を目途に 文化芸術により金沢が世界的な存在感を確立

4 推進体制

文化創生新戦略2020を実現するためのプロジェクト推進体制として、文化芸術、文化財、創造都市、国際交流等の各分野を所管する庁内横断の体制を構築し、事業の進捗管理や新規施策の企画・立案を図り、戦略の着実な推進に努めます。

5 基本方針

基本方針Ⅰ 伝統工芸の充実

金沢の工芸の発展は、藩政期の加賀藩御細工所の活動にさかのぼることができます。藩政期より磨き高められてきた伝統工芸は、今も人々の暮らしの中に息づいています。伝統工芸の発展継承を図る中核施設に御細工所の精神を受け継ぐ金沢卯辰山工芸工房を位置付け、担い手の支援を行うとともに、金沢クラフトとして高い品格を持つ工芸品を生み出していくことにより、伝統工芸のさらなる振興・発展を目指します。

施策の方向性1 ● 担い手支援のための環境整備

伝統工芸の担い手を支援するために、金沢卯辰山工芸工房の機能向上を図るとともに、中心市街地の町家をインキュベーション(起業支援)施設として活用するなど、金沢ならではの環境の整備を図ります。

施策の方向性2 ● 金沢クラフトのブランド力向上

積み重ねられてきた高度な手仕事の技術や知恵を受け継ぐとともに、多様な連携と新たな感性により伝統を発展させ、多くの人々の心を動かす高い品格を持った工芸品を創造することにより、金沢クラフトのブランド力を高めます。

施策の方向性3 ● 発表機会の充実・販路の拡大

金沢から付加価値の高い工芸品を発信する体制を強化し、本市の伝統工芸を広く世界にアピールしていくとともに、国内外の多くのバイヤーやギャラリーが集まる見本市等へ出展することで、作品の発表機会の充実及び販路の拡大に取り組みます。

基本方針Ⅱ 現代アートの発信強化

「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの創出」を目的に開館した金沢21世紀美術館は、収蔵品及びその建築美でも世界的な注目を集め、国内外から多くの人々が訪れる施設となり、金沢が現代アートと伝統文化が共存するまちとして認識されるようになりました。現代アートという新たな金沢の資産を活用し、現代アートに関する情報の発信を強化することにより、さらに世界に注目されるまちを目指します。

施策の方向性1 ● 国外美術館との連携・交流強化

国外美術館やアーティストと連携した展覧会等の実施をはじめ、様々な交流を深めることでキュレーター(学芸員)の能力の向上を図り、現代アートの国外巡回展を企画・開催できる実力を備えた世界的な美術館として地位の確立を図ります。

施策の方向性2 ● 金沢21世紀美術館の魅力向上

美術館の魅力をさらに高めるため周辺環境の整備を行うとともに、アーティスト・イン・レジデンス(滞在型創作活動)等の様々な交流事業により、新たな創造への刺激を体感できるよう魅力向上に取り組みます。

施策の方向性3 ● 現代アートの情報の集積・発信

国内外の現代アートの動向に常にアンテナを張り、作品や作家、展覧会等の情報の収集・分析を行うとともに、収蔵作品のデジタルデータ化による質の高いアーカイブを整備することにより、現代アートの情報の集積・発信の強化に取り組みます。

基本方針Ⅲ 文化芸術を担う人材の育成

本市では、金沢の個性と魅力を磨き高めるために、文化を受け継ぐ人材の育成を文化政策の中核的な事業と位置付け取り組んできましたが、今後さらに、金沢の文化の継承発展及び創造を進めていくために、文化を担う人づくりの取組を強化していくことが重要であると考え、「金沢市における文化の人づくりの推進に関する条例」を制定し、文化を担う人を支え、育むことにより、将来にわたり希望と活力に満ちた魅力あふれるまちの実現を目指します。

施策の方向性1 ● 「今」を担う人づくりのための支援

市民や文化活動を行う団体が文化の担い手であるとの認識の下に、その自主性及び創造性を十分に尊重しながら、金沢の文化の継承や就業に挑戦していく人材への支援の充実に取り組みます。

施策の方向性2 ● 「未来」を担う人づくりのための支援

将来の文化の担い手となる子どもたちの文化に対する知識と豊かな創造性や感性を高めるために、文化に関する学習及び体験の場の充実に取り組みます。

施策の方向性3 ● 知と創造拠点の整備

芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、金沢美術工芸大学を知と創造の拠点として新キャンパス基本構想の策定に取り組みます。

基本方針Ⅳ 文化芸術の世界発信

金沢は、2009年にユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が創設した創造都市に世界で初めてクラフト分野で登録認定され、創造都市ネットワークを活用した工芸の職人や作家等の連携を促す施策に取り組んできましたが、今後はこの取組をさらに深化させ、文化を通じ世界的なネットワークの構築を図ることにより、文化芸術の交流・発信拠点の実現を目指します。

施策の方向性1 ● 金沢の文化の魅力発信

ユネスコ本部における国内創造都市合同によるプロモーション展や首都圏での魅力発信事業等を通じ、金沢の文化の魅力を世界に向けて発信します。

施策の方向性2 ● 実践的な交流・連携の推進

ユネスコ創造都市ネットワーク等をはじめとする国際的なネットワークを活用し、都市間交流だけでなく、アーティスト等のより実践的な人材交流に深化させるとともに、相互連携の推進を強化し、文化芸術の交流と発信に取り組みます。

施策の方向性3 ● MICEの積極的な推進

国内外のMICEを積極的に誘致し、金沢の文化の魅力を参加する多くの人に知らしめるとともに、国際的なネットワークを形成し、新たな交流やビジネス機会の創出を目指します。

6 文化創生新戦略2020 体系図

目標

2020年を目途に、文化芸術により金沢が世界的な存在感を確立

基本方針

施策の方向性

主な具体的施策

＜基本方針I＞
伝統工芸の充実

担い手支援のための環境整備
金沢クラフトのブランド力向上
発表機会の充実・販路の拡大

金沢卯辰山工芸工房リニューアル事業	技術継承等のための研究機能の充実
インキュベーション支援事業	金沢ブランド工芸品開発促進費補助
金沢クラフトビジネス創造機構運営事業	「KOGEIかなざわ」の開催
「金沢・世界工芸トリエンナーレ」の開催	国内外の見本市等への出展

＜基本方針II＞
現代アート
発信強化

国外美術館との連携・交流強化
金沢21世紀美術館の魅力向上
現代アートの情報の集積・発信

国外美術館との連携企画展の企画・開催	国外美術館ネットワーク構築の促進
国外巡回展の企画・開催	金沢21世紀美術館 周辺環境等魅力アップ事業
アーティスト・イン・レジデンス事業	地域創造事業(交流事業)
研究活動の促進	所蔵作品アーカイブ構築

＜基本方針III＞
文化芸術を担う
人材の育成

「今」を担う人づくりのための支援
「未来」を担う人づくりのための支援
知と創造拠点の整備

「文化の人づくりの推進に関する条例」制定	文化の人づくり奨励金事業
金沢職人大学校活性化プランの実施	伝統文化子ども塾の開催
伝統文化親子体験講座の開催	美術館等教育普及事業
金沢人づくり学生塾の開催	金沢美術工芸大学 新キャンパス基本構想の策定

＜基本方針IV＞
文化芸術の
世界発信

金沢の文化の魅力発信
実践的な交流・連携の推進
MICEの積極的な推進

「ユネスコ創造都市・金沢」 国際プロモーション事業	首都圏魅力発信事業
ユネスコ創造都市 アーティスト・イン・レジデンス事業	外国人工芸作家等研修支援
創造都市ネットワークの交流推進	「東アジア文化都市2018」の誘致・開催
「世界工芸サミット」の誘致・開催	コンベンション機能向上